

第 26 回 国分川調節池を育む会

日時：平成 28 年 7 月 3 日(日) 10 時～

場所：曾谷公民館 第 1、第 2 研修室

次 第

1. あいさつ

2. 平成 28 年度の予定等

- (1) 国分川調節池の役割について (千葉県)
- (2) 今年度のスケジュールについて (千葉県・市川市)
- (3) 今後の国分川調節池の管理・運営について (市川市)
- (4) ガマ等の穂綿飛散対策について (千葉県)

【質疑応答】

3. 自然ふれあいゾーンについて

- (1) 設計の方向性 (市川市)
- (2) 設計検討の視点及び留意点
(千葉県大学大学院園芸学研究科 近江慶光氏)
- (3) 検討部会による検討
- (4) 検討部会からの発表

4. 事務連絡

<資料>

- 1. 国分川調節池上部活用事業 年度別区域図
- 2. 今後の国分川調節池の管理・運営について
- 3. 国分川調節池緑地上部活用整備 下池自然ふれあいゾーン基本計画図(案)

事務局(市川市役所 公園緑地課)

TEL: 047-712-6367(直通) FAX: 047-712-6365

メール: midoriseibi2@city.ichikawa.chiba.jp

国分川調節池整備方針

○国分川調節池整備テーマ

人と生き物の輝く池を次の世代に手渡そう！

○整備基本方針

1) 地域を洪水の被害から守り、治水に対する理解を深める

- ・洪水の危険から地域を守る治水機能を確保する。
- ・日常の利用により、治水の重要性を知り、興味を育む場、一人ひとりの取り組みかたを知る場とする。

2) ふるさとの自然を復元し、子どもたちや次の世代へと伝える

- ・自然ネットワークの大拠点となる豊かな自然を復元する。
- ・さまざまな生き物を育む、多様な環境を復元する。
- ・川の水質改善など、自然のもつ機能を発揮させる

3) 人と人、人と自然のふれあいを育む

- ・子どもたちが、ふるさとの自然と自由にふれあえる場とする。
- ・懐かしさを感じる風景の中で、穏やかに過ごすことのできる場とする。
- ・子どもから高齢者等まで、世代を越えた様々な人々の交流の場とする。

4) 緑豊かな木々に彩られた、雄大で多様な水辺の風景をつくる

- ・市川の原風景を感じる場とする。
- ・周辺から見える緑を増やし、住環境の向上に役立てる。
- ・自然と調和する施設整備を行う。

5) イベントや運営への参加を通じて、国分川調節池への愛着を育む

- ・市民の知恵と経験を活かしつつ、市民と行政のパートナーシップに基づく管理を行う。
- ・管理費用の抑制に配慮した整備を行う。